



# GROWLERS WORTHY OF THE WORD "CRAFT."



## 質問またはコメントはありますか？

このガイドをお読みになって、まだご不明な点がありますか？

私たちがお手伝いします。ご遠慮なくご連絡ください。

Craft Master CO2®シリーズグロワーを所有することに興奮

し、そのすべてを私たちに知らせたいとお考えですか？

ぜひご連絡ください。私たちは、お客様がどのようにビールを楽しんでいらっしゃるかを見るのが大好きです。

## Craft Master Growlers



[info@hill-friends.com](mailto:info@hill-friends.com)



<https://hill-friends.com>

© Copyright 2019 Craft Master Growlers, Inc

Craft Master CO®

## クイックスタートガイド

---

お酒は楽しくほどほどに。

## はじめに

おめでとうございます!

あなたは世界で最も頑丈な加圧式グラウラー、Craft Master CO2®シリーズのオーナーです。

このガイドの簡単なステップを踏めば、お望みの地ビール醸造所でグラウラーを満タンにし、完璧な炭酸と醸造所の新鮮な冷たいビールをご自宅で楽しむことができます。クラフトマスターグラウラーは、性能と耐久性のためにあらゆる面で慎重に設計されています。冷蔵庫でも使いやすい戦略的な形状から、豪華なステンレス製の二重壁断熱ボディまで、クラフトマスターグラウラーはビール愛好家のニーズを満たすために細心の注意を払っています。

クラフトマスターCO2®シリーズのグラウラーは、醸造所から持ち帰ったクラフトビールの炭酸を維持するために作られました。CO2レギュレーターキャップとCO2カートリッジを使って、CO2ガスをグラウラーに注入します。

このクイックスタートガイドは、洗浄、充填、そしてお気に入りのビールをCraft Master CO2®のタップから注ぐまでの簡単なステップを説明します。

Craft Master CO2®シリーズでお気に入りのビールをお楽しみください。



64 oz.



128 oz.

## 注意事項 必ずお読みください

### CO2カートリッジの安全な取り扱いについて

クラフトマスターCO2レギュレーターキャップを使用する際にはCO2カートリッジが必要です。CO2カートリッジは、最高品質のフードグレードのものを使用してください。カートリッジは加圧されているため、取り扱いや保管に注意が必要です。

- 子供の手の届かないところに保管してください
- 涼しく乾燥した場所に保管してください
- 熱や炎にさらさないでください
- グラウラーをCO2を充填するときは、必ずキャップとカートリッジトップを顔や体から離してください
- グラウラーが充填されているときは圧力に気をつけてください

### レギュレーターキャップを外す前に

グラウラーからキャップを取り外す前に、必ずキャップのレギュレーターダイヤルをOFFの位置に回してください。次に、圧力解放安全弁のジッパータブを軽く引いて、グラウラー内の圧力を解放してください。7ページ以降の取り外し方を参考にしてください。

キャップがグラウラーから取り外されたら、中のカートリッジが空になったように見えても、カートリッジ・ホルダーのネジをキャップから外す際には注意が必要です。ホルダーは必ずゆっくりと慎重に、顔や体から離すように回してください。そうすることで、満タンまたはガスが残っているCO2カートリッジから圧力が放出されません。

**お酒はいつでも楽しく、ほどほどに。**

## トラブルシューティングとFAQ

グラウラーにはどんな飲み物が入られますか？

ビール、サイダー、発泡性ワイン、ソーダ、ソーダやトニックウォーターを使ったカクテルなど、CO2を使う飲料なら何でもOKです。

グラウラーでコールドブリューコーヒーを作ることができますか？

8グラムのN20カートリッジは、8グラムのカートリッジホルダーで使用できます。64ozのグラウラーに32oz(946ml)を入れてコールドブリューを作ることができます。ただし、N2カートリッジは使用できません。低温により部品が損傷する可能性があります。

CO2を調整するとビールが出てくる。

タップハンドルのツイストロックバルブが開いている可能性があります。圧力を加える前にツイストロックバルブを閉じてください。

ビールの出が早く、泡が立ちすぎる。

レギュレーターダイヤルをOFFの位置に回します。圧力が約10-12 PSIであることを確認します（圧力ゲージが緑色のゾーン）。圧力が高い場合は、ジッパータブを使用して余分な圧力を解放してください。

私のグラウラーには残り1パイントの時、泡で出てきています。

圧力を約5 PSIに下げ、グラウラーを前方に傾けて最後のビールを注ぎます。

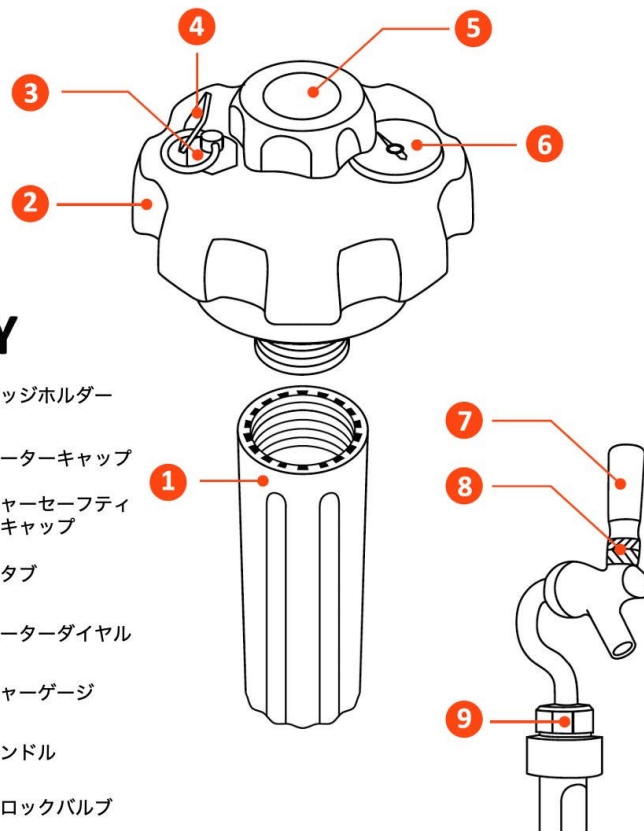
冷蔵庫に入れたら圧力が下がりました。

これは正常な状態です。温度を下げると、グラウラー内の圧力が下がります。レギュレーターダイヤルでガスを少し多めに放出し、適切な圧力に戻すだけです。

## 各部の名称

### STEP 1

レギュレーターキャップとタップの部品について、よく理解してください。



### KEY

- 1 カートリッジホルダー
- 2 レギュレーターキャップ
- 3 プレッシャーセーフティリリースキャップ
- 4 ジッパータブ
- 5 レギュレーターダイヤル
- 6 プレッシャーゲージ
- 7 タップハンドル
- 8 ツイストロックバルブ
- 9 ネックナット

## 洗浄

### STEP2

グラウラーに飲み物を入れる前に、よく洗い、衛生的であることを確認してください。

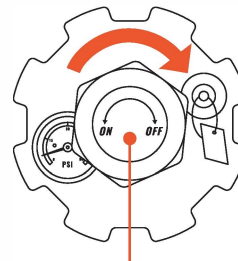
- 1 温水を注いで、グラウラー、キャップ、カートリッジホルダーを濯いで、水をよく切ります。
- 2 アルカリ性の醸造用クリーナーや食器用洗剤や野菜用洗剤などの食器などに使える安全な洗浄剤を入れます。
- 3 温水をグラウラーのネック下辺りまで注ぎ、キャップを閉めます。よく振っておきます。
- 4 20～30分ほど放置して待ちます。
- 5 ジッパータブを開き、圧力を抜いてからキャップを外し、中の洗浄液を捨てます。
- 6 水道水を流して、中に洗浄液が残らない様によく濯ぎます。グラウラーを傾けてタップを開くことで、タップからも水が流せます。
- 7 キャップを外し、内部を完全に乾燥させます。

## CO2カートリッジの装着

### STEP3

レギュレーターダイヤルをOFFの位置に合わせます。

これにより、カートリッジ装填時にガスが抜けるのを防ぐことができます。締め付けすぎないでください。手で締め付ける程度で十分です。



レギュレーターダイヤル

### NOTE

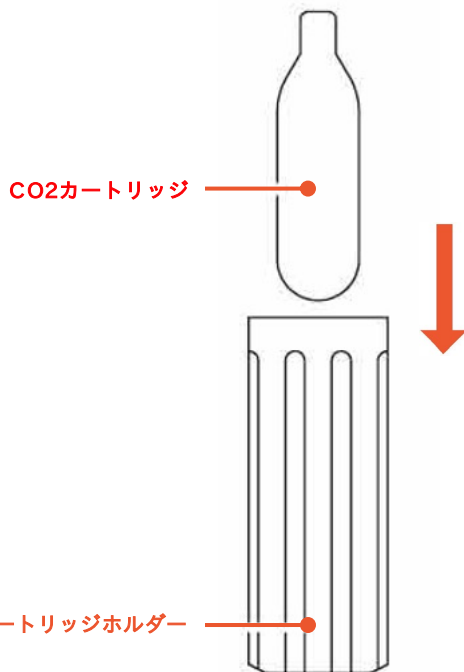
ブリューパブなどでグラウラーを満タンにした後、カートリッジを装填してキャップにチャージすることも可能です。

## CO<sub>2</sub>カートリッジの装着

### STEP4

CO<sub>2</sub>カートリッジをカートリッジホルダーに挿入します。

カートリッジの細い方の端は上向きにして、キャップで開口部を開けることができるようにします。



### STEP5

カートリッジホルダーをレギュレーターキャップにねじ込みます。

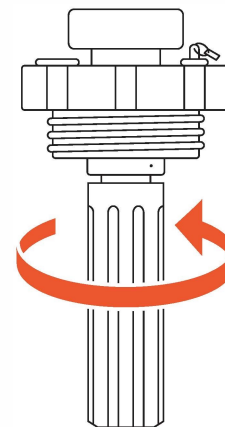
締め付けるとカートリッジの先端に穴が開き、小さなガス放出音が聞こえるかもしれません。これは正常な状態です。そのまま締め付けますが、締め過ぎないように注意してください。

### カートリッジのサイズを知ろう

64oz グラウラー = 8 グラム  
128oz グラウラー = 16グラム

### カートリッジ交換

Craft Master CO<sub>2</sub>®シリーズ グラウラーには、CO<sub>2</sub>カートリッジが1個付属しています。各カートリッジは12 PSIで、満杯のグラウラー1個をタップから空にするのに十分な圧力を持っています。満タン時には、グラウラーを加圧したままにするために最小限のガス量を使用します。飲料が減り、グラウラーに空きスペースができると、適切な圧力を得るためにさらにガスを注入する必要があります。

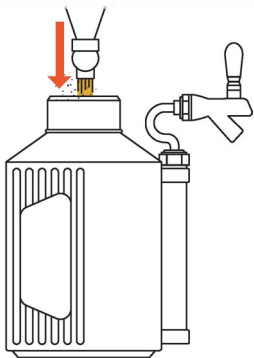


顔から離しながらレギュレーターダイヤルからみてカートリッジホルダーを反時計回りにひねって締めます。カートリッジを使い切ったら、レギュレーターダイヤルをOFFにし、ホルダーを時計回りにゆっくりひねって開きます。

## 飲み物を入れて、圧力を調整します

### STEP6

グラウラーにビールなどの飲み物を入れます。



レギュレーターキャップにCO2が充填されたので、ビールなどの飲み物をグラウラーに入れる準備ができています(充填後はなるべく早くからにすることをお勧めします)。端から泡が出るのは問題ありませんが、キャップを挿入するスペースを確保するためにグラウラーのネック下までしておくことをお勧めします。充填後にレギュレーターキャップをねじ込みます。強く締め付ける必要はありません。

### STEP7

プレッシャーゲージを見て圧力を調整します。

加圧中に注ぎ口からビールが出ないようにツイストロックバルブを閉めておきます。レギュレーターダイヤルをゆっくりとONの方向に回します。プレッシャーゲージを見ながら加圧してゲージの緑色のゾーン(約12PSI)に調整します。圧力が十分にかかったら、レギュレーターダイヤルをOFFに戻します。圧力が高くなりすぎたら、ジッパータブを少し引き、緑色のゾーンに入るように調整します。



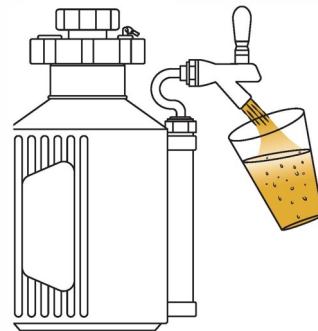
プレッシャーゲージ

プレッシャー  
セーフティバルブ  
&  
ジッパータブ

## ビールを注ぎます。

### STEP8

タップから飲み物を注ぎます。



ツイストロックバルブを反時計回りに回して、タップが開く様になります。

タップの注ぎ口の下にグラスやカップを置きます。タップハンドルを手前に引き、飲み物をグラスに注ぎます。

炭酸がしっかり効いた冷たいビールをお楽しみください！

### WARNING

他のケグシステムと同様、レギュレーターダイヤルがOFFの位置にあり、レギュレーターキャップを外す前にジッパータブを引いて圧力を抜いていることを必ず確認してください。

### TIP

レギュレーターダイヤルを回して、必要に応じてCO2を追加してください。これは、グラウラーの中身が減ってきたときに飲み物の量を調節したり、ビールを保存するために必要な場合があります。

### PRO TIP

クラフトマスターCO2シリーズのグラウラーには、省スペースのスイベルタップが採用されています。注入前にネックナットをレンチで緩め、タップを90°回転させます。そのまま締め付けます。これで、冷蔵庫のドアを”ケグレーター”に変身させることができます。

## グラウラーのお手入れ

### TIP

グラウラーを使用するたびに醸造所洗浄剤などを使用する必要はありません。使用前と使用后すぐに温水と食器用洗剤で十分にすすげば、衛生的です。可能な限り、洗浄後はグラウラーを裏返して水気を切り、乾かしてください。

### TIP

ビールの残滓は有機物や無機物の残滓や微生物です。そのため、グラウラーを徹底的に洗浄すればするほど微生物（カビなど）の繁殖を抑えることができます。

### TIP

グラウラーは気密性が高いのでキャップを外して（または緩めて）保管するのがベストです。それだけでも微生物の数を減らすことができます。それでも毎回使用する前と後に洗剤と温水でグラウラーをよく洗ってください。

### TIP

グラウラーにはタップの軸と同軸に飲み物の残量が判るサイトレベルがついています。時々、一般的なレンチなどでネックナットを完全に取り外すことで、タップ部分もサイトレベル内部も綺麗に洗浄する事ができより衛生的です。内部の細かい部品がありますが、元通りに組み込めないと内部でCO2が漏れビールが泡だらけになる可能性がありますのでご注意ください。

### TIP

タップの目詰まりや固着を防ぐために使用のたびに、温水をタップに流してください。開閉しながら水を流してタップ内部の洗浄をします。

## カートリッジの取り付け取り外し時の注意

### WARNING

カートリッジの個体差（蓋の厚みや各部の製造誤差など）によって蓋に穴が空いた感覚が分かりにくいものがあります。一度でも締め込んだ場合、締め込んだ際の手の感覚で分からない程度の小さい穴が空いたとしてもカートリッジ内の高圧の炭酸ガスがレギュレータキャップ内に放出されています。一度でも締め込んだ場合は、内部のガスを完全に放出するまでホルダーを緩めない様にしてください。高い圧力がかかっている状態でホルダーを緩めると破裂したり、ホルダーが勢いよく飛んだりする可能性があります。その場合、破片が飛び散るなどして危ないので、絶対にしない様にしてください。

### TIP

カートリッジに穴が開いたか確認する時はバルブを少し開けてガスが放出されるか確認してください。バルブ操作は軽く止まるところまでにしてください。オン側、オフ側それぞれ止まるところから、さらに締め込んだり開けたりすると破損の恐れがあります。

もし、カートリッジを締め込んだ状態でバルブを開けてもガスが放出されない時やガスが残っている状態でホルダーを緩める場合は下記の要領でガスを完全に放出させる様にお願いします。

- ・安全な場所とところ、屋外などで作業する様にしてください。
- ・ボウルやバケツなどに水を汲んで置きます。
- ・レギュレータキャップとホルダーをバスタオルで包むなどして、万一破裂しても周囲に破片が飛ばないようにしてください。
- ・タオルの上からホルダーを回します。1/10回転程度回した状態で、ホルダー部分だけが完全に浸かる様に、水に浸けます。
- ・水に漬けたホルダーのネジ部から泡が出ます。泡が出ない場合は、更に同程度ホルダーを緩め水に浸けて泡が出るかを繰り返し確認してください。
- ・水から引き上げ、1日程度放置します。
- ・再度水に浸けてみて泡が出ないことを確認してホルダーをゆっくり緩めて外していきます。まだ、多少残っている可能性があるため、バスタオルなどで包んだ状態でホルダーを緩めてください。